

IAF事業(Industrial Automation Forum)

事業概要

継続

製造業オープン化

事業略称	IAF	期間	2010～	予算元	メンバー会費	事業形態	任意
概要	<p>本事業では工場内の人、物、機械を連携・統合・協働するために、モデル化、クラウド化、スマート化を実現する情報技術を導入し、ものづくりにおける連携と自動化を推進する。そのために、オートメーションに係わる技術の調査・研究・標準化・普及を支援しつつ、個々の技術分野との連携や統合を目指した情報共有と内外の関連機関・団体との協働を実施する。具体的には情報技術、生産技術、システム技術などが生産システムで有効に活用されることを目指し、KPI或いはia-cloudなどの実証や普及・標準化に向けた事業を行う。</p>						
ゴール	<p>製造業の情報化・高度化に関する諸団体と協力し、ものづくりにおける連携と自動化を推進する。</p>						

2021年度 計画(左)／活動結果(右) [予算：2.6百万円／決算：2.7百万円]

総会・運営委員会の開催	総会(6月)・運営委員会(1月を除く毎月)を開催
フォーラム開催	IAFフォーラム及びIAFシンポジウムをオンライン開催(11月,3月)
展示会出展	IIFES2022(1月26日-28日：東京ビッグサイト)
<ul style="list-style-type: none"> ●モデリングWG：射出成形機による成形品の製造に関する課題解決に向けて、SysMLを用いたモデル記述を実施。 	工場内で射出成形を実施する様子をモデルで記述し、そこに存在する様々な問題を関係者間で共有し、生産スケジューリングを行うための手順について議論した。
<ul style="list-style-type: none"> ●ia-cloudプロジェクト：ia-cloud・Node-REDプラットフォームの保守・拡張を行うとともに、製造業DX支援プログラムを始動・推進。 	東京都IoT研究会課題検討会等で、ia-cloud・Node-REDプラットフォームの事例紹介、パネル討論を実施した。製造業DX支援プログラムを推進中である。
<ul style="list-style-type: none"> ●SMKLプロジェクト：デジタル化された情報をSMKLを用いて見える化し、経営層、管理層、作業員、SIer、IoT製品ベンダーなどが活用できる方法を検討。SMKL普及活動。 	新設プロジェクトとして開始、4つのSWGに分かれて活動中。SMKLの活用、セミナーでの引用など実施した。企業のラインに実際に適用した事例、検討中の事例もある。
<ul style="list-style-type: none"> ●CLiC：IIFES2022に出展し、KPIプロモーションの実証デモを実施。KPIシステム構築適用に関してはSMKLプロジェクトと連携。 	OT技術者が容易に行えるKEIモデルの構築手法を2種類のKPI：設備総合稼働率(OEE)と総合エネルギー消費量(CEC,炭素排出量換算)で紹介するデモを実施した。

Ⅲ-2. IAF事業(Industrial Automation Forum)

2021年度成果

以下のイベントで活動成果を発信

■ IAFフォーラム2021 オンライン

- 11月16日：モデリングWG
- 17日：SMKLプロジェクト、CLiC
- 18日：ia-cloudプロジェクト

■ IIFES2022 於)東京ビッグサイト

- ✓ ブース出展 (右記・デモ展示)
1月26日-28日
- ✓ 出展者セミナー
1月26日：ia-cloud
27日：SMKL

■ IAFシンポジウム2022 オンライン

- 3月8日
- ・ SMKL
- ・ モデリングWG
- ・ ia-cloud

IIFES2022 出展概要

